

経済学部

経済学部では、ディプロマ・ポリシー（DP：学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のカリキュラムを編成します。

[教育内容]

学問の基礎となる幅広い視野と知識を身につけるため、全学共通の多様性に富む共通教育科目を設置します。

経済学の入門的な知識と学習方法を身につけるため、各学科の特徴を反映した入門科目や少人数クラスの「初年次演習」による導入教育を1年次に配置します。

専門教育のための基礎科目として、「マイクロ経済学」および「マクロ経済学」を必修科目としてそれぞれ1年次の後期および2年次の前期に配置します。

意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、共通教育科目やG.A.P.科目に加え、専門教育科目として、「経済学ジョイントコース」、「海外研究者特別講義」などを配置します。

専門教育科目の編成に関しては、履修の指針として経済学科では3つのコース、産業経済学科では2つのプログラムを準備し、それぞれの特色を組み込んだ科目群を配置します。

[教育方法]

順次性を重視した演習科目を2年次から4年次にわたって配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対する分析・考察を行い、論文を執筆することで、課題探究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、専任教員とともにスチューデント・アシスタントを配備し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目、インターンシップなどを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。